

祝 ノーベル平和賞
日本被団協受賞



田中 照巳

田村 智子

新春
対談

ご注意 冬の入浴事故

寒いこの時期、入浴は、ピークに月々4月に多
 楽しみの一つですが、と
 くに高齢者は入浴のとき
 に多くの突然死が起きて
 おり、十分な注意が必要
 です。消費庁による
 と、高齢者が自宅の浴槽
 で溺れた事故による死亡
 者は、近年では「交通事故
 死」による死亡者数より
 多くなっています。
 家などの浴槽での死亡
 者は4900人(201
 9年)で、約10年で1.
 5倍に増加(厚生労働省
 「人口動態調査」とく
 に75歳以上の後期高齢者
 が増えています。1月を
 動が入浴中(脱衣室など

特に冷える深夜は危険

関係者が挙げる事故を
防ぐためのポイント

- ▽持病や前兆がない場合も起こる恐れがあるので、自分は大丈夫と過信しない
- ▽浴槽の湯が沸いたらがきまぜて蒸気をたてるなどで、入浴前に脱衣室や浴室を暖める
- ▽血圧の変動を抑えるため、湯につかる前かけ湯を入念に
- ▽熱い湯、長湯は危険が増す。湯の温度を41度以下、湯につかる時間は10分までを目安に
- ▽浴槽から出るときは手すりなどを使ってゆっくり立ち上がる
- ▽食事直後や飲酒後、体調不良時、精神安定剤、睡眠薬などの服用後の入浴を避ける
- ▽心筋梗塞、高血圧症、脳血管疾患などの持病がある人は注意して入浴する
- ▽高齢者の入浴時には家族も心配りを
- ▽一人暮らしの高齢者はとくに注意する

も含む)だった事例は、
 22年は1704件で前年
 比300人増。全検数
 の1割を超えます。19年
 から22年の5年間で65
 歳以上が占める割合は男
 性で87.6%、女性は94
 や一戸建て住宅で急死事
 故が多くみられるよう
 だ、と指摘。「入浴前後の
 早い時間帯での入浴や、
 より温度が下がる日の夜
 遅くの入浴は危険で、断
 熱レベルの低い中古住宅
 なども考えてよいので
 うなどとも考えています。
 はないか」としています。

政界語録

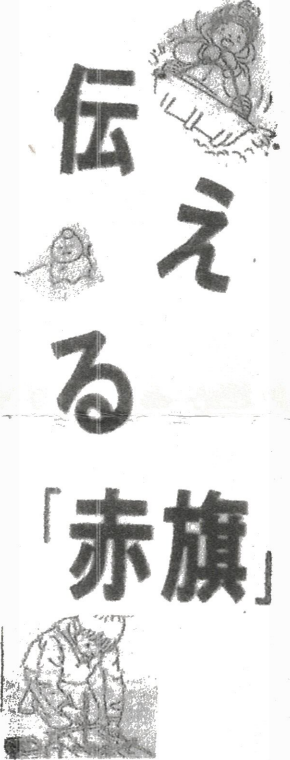
「改憲につながるやり方は一切認め
ない」と繰り返す共産党が存在する
限り、全会一致は永遠に望めない」

馬場伸幸日本維新の会前代表の衆院憲法審査
会(10日)での発言です。馬場氏は、衆院憲法
審の前身・衆院憲法調査会の会長だった中山太
郎氏が唱えた憲法審の運営は全会派の一致点で
決めるという「中山方式」を「特定野党が曲
解、悪用し、プレーキをかけてきた」などと攻
撃し、多数決による改憲発議を急ぐべきだと主
張しました。

しかし、総選挙の結果、改憲派政党の議席は
改憲発議に必要な3分の2を割り込み、衆院憲
法審査会長のポストを立憲民主党に譲る事態に。
「産経」も改憲論議は「冬の時代」から「一
気に『厳冬期』に突入した」と嘆きました。

昨年、共産党は「日本からなくなったらいい
政党」という民主主義否定の罵詈雑言を口に批
判を浴びた馬場氏ですが、同氏の憲法審での発
言は、因らざる共産党が改憲阻止の役割を果た
していることを公に認めるものとなったので
す。その馬場氏は、党内から事実上の「不
信任」を突き付けられ代表選(1日)への出馬を
断念。「いらなくなった」と代表を退いたのは
馬場氏自身でした。

希望
伝える
「赤旗」



「韓国で起こることは日本でも
起きる可能性があるという
ことを自覚しないとダメ
せん。憲法改正で緊急事態条項
を整備すべきです」

韓国の尹錫悦(ユン・ソンニョル)大
統領が戒厳令を突如発令した事態に乗じて
緊急事態条項創設のための改憲を主張
した馬場伸幸日本維新の会前代表のXへの
投稿です。自民党改憲草案にもあるよ
うに、緊急事態条項とは、「内乱」など
「社会秩序の混乱」を理由に権力側が発
動するもので、今回、尹統領が発令した
戒厳令と同様、国民の権利を保障する憲
法の制約を解除するもの。馬場氏は緊急
事態条項が「権力の暴走を止める装置」
だなどとも投稿しましたが、まさに権力
の暴走の道具となる条項にほかならず、
馬場氏の投稿は事態をあべこべに描くも
のです。

かつて、新型コロナウイルスの感染拡大まで緊急
事態条項創設の「非常に良いお手本」
だなどと利用した馬場氏にとって、国民
や野党を軍隊で抑え込んできた他国の戒
厳令を緊急事態条項の「お手本」にする
ことなどお手のものでしょう。



黒田みちの
TEL 090-9987-7909
707 CAFE/STAY
黒田みち

日本共産党

ガザ死者70人 イスラエル軍攻撃

パレスチナ・ガザ地区の保
健当局は4日、イスラエル軍
によるガザ地区への攻撃によ
る3日からの死者が少なくとも
も70人となったと発表しまし
た。
 医療関係者や住民による
と、死者のうち少なくとも17
人が北部ガザ市の住宅2軒へ
の空爆で殺され、その最初の
空爆でグーラ家の家が破壊さ
れました。
 近くに住むアハメド・アヤ
ンさんは「午前2時頃、大き
な爆発音で目が覚めた」「爆
発した」家に14、15人いた。
ほとんどは女性と子どもで全
く民間人だ。ミサイルを発射
した者も戦闘員もいない」と
ロイター通信に話しました。
 人々は瓦礫(がれき)の下
に閉じ込められた生存者がい
ないか捜索。医療関係者は犠
牲者の中に数人の子どもも含
まれていたと述べました。攻
撃から数時間経ても、瓦礫の
中では家具が燃え、炎と煙が
わずかに上がっていました。
 パレスチナ民間緊急サービ
スによると、4日、ガザ市の
住宅への別の攻撃で5人が殺
され、少なくとも10人が瓦礫
の下敷きになっている恐れが
あります。
 医療関係者によると、イ
スラエル軍は北部ジャバリヤ
と中部デイルバラ近くを攻撃
し、少なくともパレスチナ
6人を殺しました。
 (ロイター)

この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。他の新聞にはないスクープ満載です是非ご購読ください。